

工事現場における新型コロナウイルス感染防止対策について

工事名：東草野人工リーフ（No215）改良工事

受注者：株式会社 飯作組

○現場代理人：道腰 健吾

監理技術者：中陳 渉

1. はじめに

本工事は、富山県下新川郡朝日町東草野地先において、既設人工リーフを改良する工事である。本工事を施工するにあたり、新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にある現状に留意した。弊社や本工事の従事者においても感染の可能性が懸念され、発生した場合、工事を取り巻く環境や、工事に係る関係者・工事そのもの自体へ多大な影響を及ぼす。本文は、弊社が行った新型コロナウイルス感染防止対策について報告するものである。



【施工箇所位置図】

2. 工事概要

- (1) 工事名：東草野人工リーフ（No215）改良工事
- (2) 工事箇所：富山県 下新川郡 朝日町 東草野地先
- (3) 工期：令和2年4月22日～令和2年10月30日
- (4) 主要工種：海域堤防（天端延長 L=28.9m）

・海域堤基礎工

捨石工	捨石（海上）	岩石 200～1,000 kg/個	1,280m ³
		砕石 50 mm以下	180m ³
	捨石均し	荒均し（±30cm）	1,340m ²
	床均し	グラブ浚渫	38m ³
洗掘防止工	アスファルトマット	孔有強化マット 9.0m×5.5m×7cm, 7.0m×5.5m×7cm	605m ²

・海域堤本体工

海岸コンクリートブロック工	海岸コンクリートブロック運搬・据付	本体ブロック 18t, 10t	200 個
		本体ブロック 4t	100 個
	海岸コンクリートブロック撤去・仮置・再据付	本体ブロック 10t	36 個

・海岸構造物撤去工

構造物撤去工	既設コンクリートブロック撤去	既設ブロック 6t, 4t	91 個
		既設ブロック 6t 法肩	4 個

・海岸構造物取壊し工

既設ブロック取壊し	既設ブロック支障箇所取壊し	既設ブロック 16t	1 式
-----------	---------------	------------	-----



【休憩所及び手洗い場の新型コロナウイルス感染防止対策】



【起重機船作業】

3. 着目点及び目的

現場着手時（5月上旬頃）富山県において新型コロナウイルス感染者は減少傾向ではあったが、それでも約100人近くの感染者がいる状況であった。もし、本工事の従事者が新型コロナウイルスに感染した場合、感染した本人だけでなく施工する現場内や会社または、発注者の方々に多大な影響を与えることになる。そこで、本工事において安全管理一般（KY活動や安全教育・訓練など）や休憩時など、通例で人々の集合体を作る要素の中でも、「三密」となる可能性が高い部分の対策及び現場従事者の方々への新型コロナウイルス感染防止対策の意識向上並びに実施内容を下記のとおり行った。

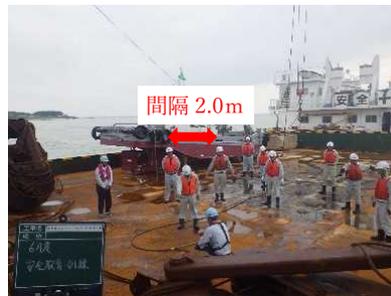
4. 現場での感染防止対策

(1) 新規入場者教育及び安全教育並びに作業始業時での対策・対応

新規入場者教育及び安全教育・訓練時に、当現場の新型コロナウイルス対策についての教育を行った。教育内容として、ソーシャルディスタンスの確保や感染防止対策（正しいマスクの着用、手の洗い方など）を行い、また、私生活においても、集団による会食の回避や3密についての教育及び資料等を配布し現場従事者の意識向上に努めた。



【新型コロナウイルスについての視聴覚教育】



【ソーシャルディスタンスを保ったKY活動】



【手洗いの実践訓練状況】

(2) 現場休憩所及び現場事務所での対策・対応

① チェックリスト及び検温計の設置

作業者の休憩所入室前に、弊社独自の職場におけるチェックリスト及び健康チェックシートを作成し検温、体調の確認をした。尚、現場従事者が37.5℃以上の体温及び感染者を確認した場合は、自宅待機の指示をし、関係機関に速やかに連絡を取り、接触者履歴等の報告ができるよう体制を整えた。



【作業前の検温状況】

現場における 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト					現場における 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト				
健康チェックシート					<small>このチェックリストは、現場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するための基本的な対策の実施状況について確認いただくことを目的としています。</small>				
年月日	令和 年 月 日	会社名			年月日	令和 年 月 日	会社名		
現場名	東豊野人エリーフ (No215) 改良工事				項目	確認			
氏名	体温	呼吸器症状	その他の自覚症状	接触履歴の有無					
()	なし	なし	なし	無					
()	あり	あり	あり	有					
()	なし	なし	なし	無					
()	あり	あり	あり	有					

【職場におけるチェックリスト及び健康チェックシート】

② 来客者リスト及び検温計の設置

来客者リストを作成して現場事務所出入口に設置し、来客者には検温を行い37.5℃以上の体温がある来客者の入室を拒否した。



【来客者リスト及び検温計の設置】

③除菌剤及び消毒液の完備

現場事務所及び現場休憩所並びに起重機船内に除菌剤及び消毒液を完備し常時使用できる体制にした。また、仕事前や打合せ後には机の除菌を必ず行うように徹底した。



【現場事務所内の設置】



【現場休憩所内の設置】



【起重機船内での除菌状況】

④飛沫感染の防止対策

現場事務所及び現場休憩所並びに起重機船内の机やテーブルに透明なビニールシートやアクリル板で間仕切りし、飛沫感染防止を行った。また、換気も1時間毎に行うよう努めた。



【ビニールシートの設置】



【アクリル板の設置】



【起重機船内での昼食状況】

⑤掲示物による意識の向上

弊社では、新型コロナウイルス感染防止に向け、本工事に係る従事者への呼びかけとして、感染防止対策資料や会社独自の啓発ポスターを作成・掲示し作業従事者の方々への認識及び意識の向上を図った。



【啓発ポスターの掲示】



【感染防止対策資料の掲示】

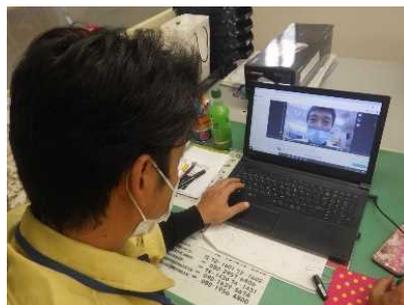


【起重機船内啓発ポスターの掲示】

(3) 業務会議及び外注業者との工程打合せ

業務会議（災害防止協議会や社内会議）ではオンラインでZOOMを利用した会議をするよう努めた。オンライン会議で行うことにより、人と人の接触の機会を減らし、感染防止対策とした。また、移動時間の削減にもなった。

外注業者と詳細な図面を用いる工程や施工の打合せについても、ZOOMとTEAM VIEWERを併用しオンライン上で確認を行った。



【オンライン会議】

(4) 社内安全パトロール

社内安全パトロールでは、通常時の点検項目に加え、当現場で取決めた新型コロナウイルス対策確認項目の確認も行った。社内安全パトロール終了時には、現場事務所で結果報告や新型コロナウイルス対策確認項目の修正や意見交換等を行い、感染防止対策のさらなる向上に努めた。



【コロナ対策確認状況】

確認項目	確認結果	改善事項
① 作業現場での手洗い場所の確保	手洗い機を設置し、ハンドソープ・消毒液を完備	
② マスク・手袋の着用	マスク・手袋着用を奨励	
③ 共用利用する器具の取扱方法の確認(消毒、手洗い等)	各自使用後は消毒を奨励	
④ 従業員の健康状態の把握	毎朝のチェックで発熱や体調不良の有無を確認	
⑤ 県内外の不要不急の外出の自粛(富士山の緊急事態措置)	事務所、休憩室に自粛ポスター掲示	
⑥ 感染源・濃厚接触者発生時の危機管理	緊急連絡先(保健所、接触者相談センター)、「ベストコントロール協会(消毒業者の紹介)」の記載	
⑦ 感染源・濃厚接触者(その可能性がある場合も含む)の情報の発注者への連絡先の確認	緊急時の対策及び対応の提示	
⑧ 業務上、他者との接触があった場合(打合せ等)の相手の名前・連絡先の確認		

拡大

確認項目	確認結果
⑦ テレビ会議等の実施	2mの間隔で実施
⑧ 従業員の通勤での配慮(時差出勤等)	安全教育、災防協は委員会議で実施
⑨ その他取組	全てマイカー通勤。(密な移動手段を避ける)
【手洗い・換気対策の実施】	
① 作業現場での手洗い場所の確保	休憩室入口に手洗い機設置。ハンドソープ・消毒液を完備
② マスク・手袋の着用	マスク・手袋着用を奨励
③ 共用利用する器具の取扱方法の確認(消毒、手洗い等)	各自使用後は消毒を奨励
④ その他取組	-
【従業員・家族の健康管理等】	
① 毎朝の従業員及びその家族の体温、健康状態の把握	独自のチェックで毎朝(夜)時に健康チェックと検温の実施
② 県内外の不要不急の外出の自粛(富士山の緊急事態措置)	事務所、休憩室に自粛ポスター掲示
③ その他取組	感染防止ポスターやポスターを独自に作成し啓発
【感染源・濃厚接触者発生時の危機管理】	
① 緊急連絡先(保健所、接触者相談センター)、「ベストコントロール協会(消毒業者の紹介)」の記載	事務所内、休憩室入口に提示
② 感染源・濃厚接触者(その可能性がある場合も含む)の情報の発注者への連絡先の確認	緊急時の対策及び対応の提示
③ 業務上、他者との接触があった場合(打合せ等)の相手の名前・連絡先の確認	
④ その他取組	

【新型コロナウイルス対策確認項目】

5. 結果

今回、当現場で実施した新型コロナウイルス感染防止対策の結果、施工期間中に新型コロナウイルスの発症者は発生せず、無事に工事を完成することができた。これも外注業者や現場従事者の方々のご理解やご協力また、会社からのバックアップ(新型コロナに対する会社としての方針や物資…マスクや消毒液の支給)で達成できたことである。



【会社からの支援物資】

6. おわりに

今現在も新型コロナウイルスの感染(現在は第3波)は拡大している。今後も終息するまでこのような感染防止対策を実施しながらの工事施工が続くと予想される。

今回、実施した感染防止対策は世間一般に行われているが、基本的なことを継続することが大切なことと思われる。引き続き、新たな感染防止対策や知識を取り入れ、会社と自分、そして家族のために行動や意識の向上に努め新型コロナウイルスに克ち抜かなければならない。

**STOP 克ち抜くぞ！
新型コロナに！！**

3つの「密」を絶対に避ける！

- ① 換気の悪い「密閉空間」
- ② 多数の人が集まる「密集場所」
- ③ 近距離で人と会話する「密接場面」

会社と自分、そして家族を守るため
TECHNICAL 一丸となって新型コロナに打ち克とう！

株式会社 阪作組

**新型コロナウイルス
対策実施中！**

弊社では、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症予防および拡散防止のため、従業員のマスク着用、出勤前と感食前の検温、手洗い等の対策をおこなっています。

- マスク着用
- 検温
- 手洗い
- 密接の回避
- トイレの検温
- 入浴後の検温

HANSAKU

【会社オリジナル啓発ポスター】